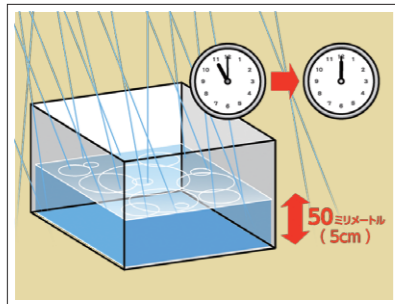


1時間に50ミリの雨ってどんな雨？



1時間に50ミリ以上の非常に激しい雨が降るおそれがあります。



「1時間に50ミリの雨」というのは、雨水が別の場所に流れず、そのままたまる状態で、「1時間に雨水が50ミリメートルの高さまでたまる」規模の雨です。



「たった50ミリ」と思われるかもしれませんが、1平方メートルあたり50リットルになります。傘をひらいたときの面積が概ね1平方メートルなので、1時間傘をさしていると、傘には牛乳パック50本分の雨が当たることとなります。



まわりの雨水があつまと・・・

防災気象情報の正しい理解と適切な利用を

気象庁が発表する雨や風についての防災気象情報の中で「激しい雨」「非常に強い風」などと表現される雨や風は実際どのような降り方、吹き方をするのでしょうか。

また、それによってどのような影響や被害が想定されるのでしょうか。

雨・風の強さに応じた人や建物などへの影響のしかたを示した表によって、雨や風の強さを数値だけでなく具体的なイメージで分かっていたできるようにしました。

これを活用して、防災気象情報をより身近なものにしていきたいと思います。

雨と風

雨と風の階級表

天気予報でよく聞く、「50ミリの雨」「30メートルの風」って実際どのくらい？

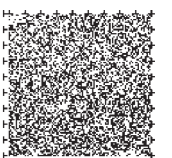
正解はリーフレットの中で！



〒100-8122 東京都千代田区大手町 1-3-4 ホームページ：http://www.jma.go.jp/
TEL：03-3212-8341(代表) FAX：03-6689-2917(耳の不自由な方向け)

このリーフレットは、印刷用の紙へリサイクルできます。

平成29年9月



音声コード

